



さんわーく

かぐや便り

100号

Sunwork-Kaguya Dayori
Jury 2017 vol.100

TAKE FREE

「さんわーくかぐや」の由来

「さんわーく かぐや」は、太陽(Sun)の下でのびのび働く(Work)ことと、月と竹の象徴であるかぐや姫と、二つを合わせて命名しました。太陽と月、昼と夜、表と裏、何事もすべてには「陰と陽」があります。陰も陽も合わせて大事にし、その入まることを受け入れ、お互いを認め合い、誰もが自然体のあるがままで楽しみながら、共に生きていける場でありたいとの願いを込めています。



もろひよりの

かぐくの

ように。

おかげさまでかぐや便り100号を発行することができました。関係者の皆さまに感謝申し上げます。

私どもの家族の彫刻アトリエだった場所を、精神疾患のある娘の居場所にできたらと始めたさんわーくかぐやでしたが、藤沢市の日中一時支援事業を行う施設として地域の障害のある方たちと一緒に創作活動や農作業などの活動を始めて10年を迎えます。障害のある人や親御さんが、気軽に訪れてほっとできる場にできたらと願い、たくさんの方々に支えられながら続けていくことができました。敷地内では、梅、びわ、柿、ぶどう、れもん、キウイなど、いつの間にかたくさん

の木々にたわわな実がなるようになりました。あっという間の10年だったような気もしますが、多くの木々がこまめで育つ年月を過ごしてきたのだと、振り返ると感慨深いものがあります。

これからも地域の居場所として末永くご一緒いただけますよう、どうぞよろしくお願いたします。

特定非営利活動法人さんわーくかぐや
理事長 藤田慶子

いつもご支援ご協力いただいている皆さまに心からお礼申し上げます。

2011年、東日本大震災の被災地へ炊き出しに行かせていただいた時のこと。体育館で配給を受けてパーティーションの中にこもり、心細く避難生活をされる方がいる一方、家も舟もすべて失った漁師さんたちが「海で稼いで建てた家を海に持っていかれたんだからしょうがない。また海で稼ごう」と、笑顔で皆揃ってご飯を食べていました。自然の厳しさの中で、自らの体を使って生きる術を持つコミュニティの強さを目の当たりにし、私たちが本当の「生きる力」を身に付けたいと思いました。

自分たちで楽しみながらできるものは素材からつくり、地域の人たちと繋がってお手伝いできることをしていけば、お金に頼らなくても物々交換や収穫物のシェアなどで幸せに生きていけるのではないかと。さんわーくかぐやは、そのような暮らしを試みながらつくりあげている、ひとつの芸術作品ではないかと思っています。

副理事長 藤田靖正

100号記念
さんわーかくぐや
徹底
解剖号

かぐやのすべて、
お見せします!

ようこそ

「日本のブータン」へ!

小田急線善行駅から徒歩7分。住宅街の中にありえないように存在する自然豊かな一角にさんわーかくぐやがあります。ここで日々、私たちは障害のある人もない人も一緒に、農作業と創作活動しながら、家族のように過ごしています。大切にしているのは「生きる力を育むこと」。私たちの愛すべき場と仲間たちをご紹介します!

横並びで混ざり合い、
持続可能な暮らしを
目指しています

住宅街に囲まれた里山風景は、中に入れば心やさしいメンバーたちが笑顔で迎え、すぐに馴染んでいただける暮らしの場。私たちにとっては日本のブータンです。お米、野菜、塩、味噌をはじめ、創作活動の作品もできるだけ自然のものを活用しています。活動は常にゆるやかに進化中。

ここは福祉施設ですが「福祉」や「障害者」といった言葉は壁を作ってしまうので使いません。スタッフもメンバーもボランティアも区別なく、自由に横並びの関係で共に混ざり合い、多様な人たちと持続可能な生き方を工夫しながら楽しんでいきます。

作業場

「王間仕様」

紙すき・シルクスクリーン・陶芸・木工など

庭から靴のまま出入りできます。冬は薪ストーブで暖まりながら、雨が降ったらトタンの雨音を聴きながら、洞窟の土を練って陶芸をしたり、竹を切り出して笛にしたり、それぞれがやりたいことを自由に組み、かぐや創作活動の場。



えりかさん
皆勤賞の
頑張り屋さん、
のこぎり作業と
陶芸が得意です。



はらさん
シルク印刷の
バッグをつくって
店長しています。



りりかさん
最年少、かぐやで
ミシンを覚えました!
裏の広告も
描いています。

ミニトマト
ナス
キュウリ

やぐら



やぐら

かぐやの竹製、かぐやの庭を一望できるベストポジション、かぐや祭りではDJブースに早変わり。

ブリーベリーの木

カリンの木

ウメの木



ビオトープ

かぐや最初の田んぼはここで産声を上げ、その後、水辺の植物と生き物が暮らす小さな楽園、ビオトープ(生物生息空間)に。春には美しい蓮の花が咲きます。



調理実習で
みんなで竹を切って
ご飯を炊きます。



庭

カキの木



かほさん
ピンクの水玉
イラストが得意、
ご飯の後には食器や
テーブルを拭いたり、
とても助かります。

作業場

ビワの木



たくみさん
いつも作業着で
農作業、頑張ってます、
任せてください。

梅干し作り

たわわに実る梅のヘタを取り、よく洗って拭いて、自家製塩でじっくり漬け込んだら、広げて干して、大粒かぐや梅干しのできあがり!



鉄釜でつくったピザ窯は
カレーのナンも
焼けるよ!



やすまさん
かぐやが大好きな
木彫家です。
かぐやのことは何でも
聞いてください。

庭

鳥がさえずり
人々が訪れ
風がわたり
四季折々姿を変える
みんな大好き
野外作業の場。
住宅街の中にある
オアシスのようだと
言われます。

味噌作り

地元の貴重な津久井在来大豆の収穫をお手伝いしていただく大豆、手づくり麹、海水から汲んだ塩、大豆を煮る薪も自家製。かぐやの個性と愛情いっぱいのお味噌です。

薪小屋

薪小屋



まいさん
薪割りが力強いって
言われます。
イラストも好きです。

かぐやエネルギー
自給の法則ここにあり。
薪がなければ
暖はとれません。
女子だって薪割りさせたら
逞しいのです。

とうがん
つるなしいんげん
ニガウリ
トマト
ジャガイモ

さゆみさん
元気な言葉は、
みんなを明るく
笑顔にします。
パトミントンが好き。



柿の葉を
干した
柿血!





だいおうさん
ダンスすること、寝っ転がることが幸せです。

ヨイショヨイショ！
手伝ってくださーい！

母屋

事務 食事処・休憩室

竹林を背にしたかぐやの玄関口となる母屋。みんながここに集まって手づくりのお昼を食べます。

なつみさんはなこさんと一緒に料理をして学んでいます。

母屋

はなこさん
作業室で紙漉きをします。月曜日のお料理担当です。

まちこさん
78歳とは思えない、誰よりも元気！みんなの胃袋を支えます。



ひょうたん

しずかさん
おやつ作り、気功、一緒にしてみませんか？

お茶畑

里芋

まえださん
かぐやのアイドル、ダンスのターン見てください。



洞窟



エッサホイサとみんなで掘った秘密基地、夏でもひんやり、食料貯蔵庫でもあります。

洞窟

やすのさん
布のお人形づくりと料理、みんなの面倒をみるのが好きです。

竹林

竹細工や竹テントの材料に大活躍、春はもろろんタケノコ掘り、母屋から急な階段を降りますので、お気をつけて。



竹林

けいこさん
(理事長)
お花とお味噌づくりが好きです。4人の子育て経験を生かしています。



ブドウの木

野菜畑・花畑

至善行駅

みさとさん
きちんとしたイラストが得意です。陶器のピンパッチは台湾でも人気です。



コンポスト



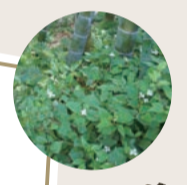
鶏小屋



元気に敷地を走り回って、健康な卵を産んでくれる鶏さんたち。コンポストの鶏糞も大事です。かきませ担当でもあります。

鶏小屋

レモンの木



山小屋



手芸・ポタニカルアート・臨床美術など
かつて仏像の彫刻アトリエだった古い工房。
かぐやの布やミシンを使うものづくりはここから生まれます。

山小屋

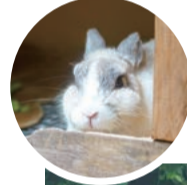


鳥さんたちもおいしく
いただいています！

ぎんじさん
ウルトラマンのことなら何でも知っています！GH暮らし頑張っています！

兎小屋

亀吉さんから今年やってきた、愛らしいうさぎファミリー。みんなで素敵な小屋を作りました。



コンポスト

料理で出る生ごみの水を切り土に混ぜ、太陽の日差して発酵させます、掻き混ぜると発酵促進、鶏糞も兔のおしっこも立派な肥料になります。これでまた美味しい野菜が育ちます。

野外作業

田んぼ



ふるやさん
農園と鶏の担当です。農具や小屋もつくります。



米作り

田んぼをお借りして、お天道様の恵みをいただいて、田植えや稲刈りはボランティアのみなさんも参加いただいで、うるち米、もち米を育てています。お餅つきを手づくりきなこでいただきます。



しんむらさん
一緒に折り紙しませんか？野菜カットも得意です。



コケー
コケー

しよっぱい!!
海を感じるお塩です!!



潮汲み・塩づくり

冬の恒例行事、城ヶ島から約400リットルの海水を汲んで来ます。海水を大鍋に入れ、だるまストーブにかけながら、ひたすら煮詰め続けます。できた塩の塊をバットに並べて天日干し、結晶キラメクかぐや塩のできあがりです。

畑たち

かぐや畑のほか、市民農園、ご近所の農園や果樹園でお世話になりながら毎年たくさんのお野菜や果物をつくり、旬の採れたてを屋食にいただいています。小麦粉も小麦の脱穀、粉碎まで手づくりしています。



小麦の製粉も自前なのだ！



